八條殿社古墳（はちじょうでんしゃこふん）

昭和 46 年 3 月 16 日　八潮市指定記念物（史跡）
●八潮市大字八條 406 番地（八條八幡神社管理地）

八潮市域で古墳といわれるのは、八條殿社古墳のみである。『新編武蔵風土記稿（しんぺんむさしふどきこう）』に「八條殿社塚上ニ社ヲ建、内ニ神体トテ古碑ニ基ヲ置、一ハ弘安七年、一ハ応安四年五月廿七日宗源禪門ト彫レリ、（中略）サレト塚上ヲ平ゲシ所ヨリ、石槨ノ著シ様、古墳ナルコト知ラル、」と、古墳であると記される。

明治 42 年（1909）の八條殿社廃社のおりに出土品は流出し、度重なる掘削などにより墳丘は原形をとどめていない。

◎公開の有無：常時公開

＊個人宅の敷地に面していますので、見学の際は充分にご配慮をお願いします。

◎交通案内

・八潮市コミュニティバス北ルート「八條八幡神社」下車徒歩 4 分

本図は電子地形図 25000（国土地理院）を加工して作成したものです。